

人間福祉学科

アドミッション・ポリシー

入試を通して、人間福祉学科が求めるのは、次のような学生です。

「『福祉の心』を持ち、まわりの人の幸せを考えられる人」

つまり、

1. 高齢者・障がい者の方と共に自立支援について考え、自由な発想を持ち楽しく活動できる人
2. 社会福祉に興味関心を持ち、理想の介護福祉士を目指して努力できる人

【解説】

障害のある方に対して「共感できる力」を持てることがポイントだと私達は考えています。「共感できる力」とは何か、どうすれば身につくのか、具体的な学習は入学後に始まりますが、「共感力」への準備として、誰にでも明るく、笑顔で話しかけることができ、どんなときも自他を受け入れていこうとする人、そういう人を入試では求めています。

カリキュラム・ポリシー

I. 教育理念

介護福祉士を志す学生には、介護を必要とする人々（利用者）の気持ちを理解することができる豊かな人間性が必要であり、利用者の人権尊重と自立支援の観点に立った介護が重要となります。

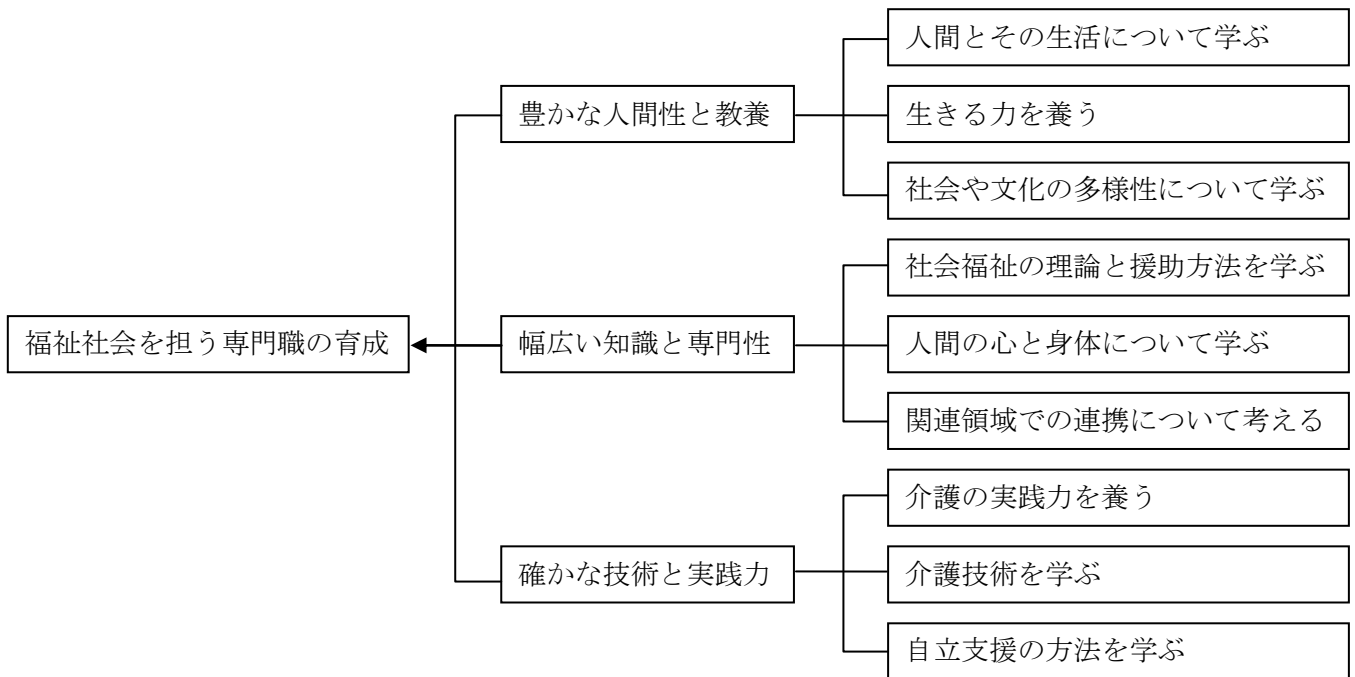
こうした介護を実現するために、学生は確かな技術・実践力や幅広い知識・専門性ばかりでなく、豊かな人間性と教養を身につける必要があります。

以上のことから、人間福祉学科では、「高い知性と人間愛を持ち、福祉社会を担う人材の育成」を教育理念としています。

II. 教育目標

この理念に沿った教育目標は以下の図の通りです。

人間福祉学科の理念・教育目標



III. 教育課程のねらい

「教養科目」「専門科目①人間と社会②介護③こころとからだのしくみ④福祉文化活動」に区分しています。

(1) 教養科目

教養科目のねらいは、介護福祉を担う専門家として、豊かな情操を養い、感性豊かな人間性と幅広い教養を身に付けることです。

(2) 専門科目

専門科目のねらいは、介護福祉士としての専門知識、技術、価値観を身に付けることです。以下の4領域に分けることができます。

①人間と社会

介護が実践の技術であるという性格をふまえ、その基礎となる教養、倫理的態度を理解することが目的です。

科目：「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」「社会福祉概論」「社会福祉制度論」

②介護

尊厳の保持、自立支援の考え方をふまえ、生活を支えるための介護について理解することが目的です。

科目：「介護福祉学Ⅰ・Ⅱ」「介護とレクリエーションⅠ・Ⅱ」「介護の倫理と地域連携」「介護のチームアプローチ」「支援コミュニケーション技術」「チーム・コミュニケーション技術」「生活介護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「生活リハビリテーション技術」「介護予防とレクリエーション」「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」「福祉住環境コーディネート」「介護過程の基本」「介護過程の展開」「介護過程の展開事例研究Ⅰ・Ⅱ」「ケアマネジメント」「介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」

③こころとからだのしくみ

多職種協働や適切な介護の提供に必要な根拠を理解することが目的です。

科目：「発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ」「認知症の理解Ⅰ・Ⅱ」「障害の理解Ⅰ・Ⅱ」「からだのしくみⅠ・Ⅱ」「こころのしくみⅠ・Ⅱ」

④福祉文化活動

介護の対象者の生活全般にわたる支援や余暇活動の援助を実践すること、またそのことを研究する方法について理解することが目的です。

科目：「介護の国際化と地域化」「伝承文化論」「動物介在活動」「レクリエーション実習」「障害者スポーツ・ボランティア」「ヘルスプロモーション実習」「地域福祉研究Ⅰ・Ⅱ」

IV. 取得できる資格

1. 介護福祉士資格

介護福祉士資格を取得するためには、厚生労働省規則に定められた指定科目・授業科目を履修してその単位を修得することとされています。本学は厚生労働省の指定する介護福祉士学校であり、科目配当表の必修科目欄に示してあるとおりに単位を修得すると、介護福祉士の資格が取得できます。

介護福祉士養成課程

区分	領域	教育内容	時間数	科目	時間数	単位数	必・選	備考
教養科目	人間と社会	選択科目	120	市民の生き方	30	2	選	※卒業必修単位数は8単位
				日本国憲法	30	2	必	
				人間と環境	30	2	選	
				情報基礎演習Ⅰ	30	1	選	
				情報基礎演習Ⅱ	30	1	選	
				外国語コミュニケーション	30	2	選	
				健康とスポーツⅠ	30	1	必	
				健康とスポーツⅡ	30	1	選	
				日本語表現	30	2	必	
				生活とマナー	30	1	必	
女性の自立と人権	30	2	選					

区分	領域	教育内容	時間数	科目	時間数	単位数	必・選	備考	
専門科目	人間と社会	人間の理解	人間の尊厳と自立	30	人間の尊厳と自立	30	2	必	※卒業必修単位数は67単位
			人間関係とコミュニケーション	30	人間関係とコミュニケーション	30	1	必	
		社会の理解	60	社会福祉概論	30	2	必		
				社会福祉制度論	30	2	必		
		介護	介護の基本	180	介護福祉学Ⅰ	30	2	必	
					介護福祉学Ⅱ	30	2	必	
	介護とレクリエーションⅠ				30	2	必		
	介護とレクリエーションⅡ				30	2	必		
	介護の倫理と地域連携				30	2	必		
	介護のチームアプローチ				30	2	必		
	コミュニケーション技術		60	支援コミュニケーション技術	30	1	必		
				チーム・コミュニケーション技術	30	1	必		
	生活支援技術		300	生活介護技術Ⅰ	60	2	必		
				生活介護技術Ⅱ	60	2	必		
				生活介護技術Ⅲ	30	1	必		
				生活リハビリテーション技術	30	1	必		
				介護予防とレクリエーション	30	1	必		
				生活支援技術Ⅰ（栄養・調理）	30	1	必		
				生活支援技術Ⅱ（被服・住生活）	30	1	必		
				福祉住環境コーディネーター	30	1	必		
	介護過程		150	介護過程の基本	30	1	必		
				介護過程の展開	30	1	必		
		介護過程の展開事例研究Ⅰ		30	1	必			
		介護過程の展開事例研究Ⅱ		30	1	必			
		ケアマネジメント		30	1	必			
	介護総合演習	120	介護総合演習Ⅰ	30	1	必			
			介護総合演習Ⅱ	30	1	必			
			介護総合演習Ⅲ	30	1	必			
			介護総合演習Ⅳ	30	1	必			
	介護実習	450	介護実習Ⅰ	90	2	必			
介護実習Ⅱ			135	3	必				
介護実習Ⅲ			45	1	必				
介護実習Ⅳ			180	4	必				

区分	領域	教育内容	時間数	科目	時間数	単位数	必・選	備考
専門科目	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	発達と老化の理解Ⅰ	30	2	必	※卒業必修単位数は67単位
				発達と老化の理解Ⅱ	30	1	必	
		認知症の理解	60	認知症の理解Ⅰ	30	2	必	
				認知症の理解Ⅱ	30	2	必	
		障害の理解	60	障害の理解Ⅰ	30	1	必	
				障害の理解Ⅱ	30	1	必	
		こころとからだのしくみ	120	からだのしくみⅠ	30	2	必	
				からだのしくみⅡ	30	2	必	
				こころのしくみⅠ	30	2	必	
				こころのしくみⅡ	30	2	必	

2. レクリエーション・インストラクター

支援コミュニケーション技術 1単位

人間関係とコミュニケーション 1単位

介護予防とレクリエーション 1単位

レクリエーション実習 1単位

以上4科目4単位修得し、卒業時申請登録にて取得可能

3. 障害者スポーツ指導員 初級

介護とレクリエーションⅡ 1単位

生活リハビリテーション技術 1単位

介護予防とレクリエーション 1単位

障害者スポーツ・ボランティア 1単位

以上4科目4単位修得し、卒業時申請登録にて取得可能

4. 福祉レクリエーション・ワーカー

支援コミュニケーション技術 1単位

人間関係とコミュニケーション 1単位

介護とレクリエーションⅠ 2単位

介護とレクリエーションⅡ 2単位

介護予防とレクリエーション 1単位

介護過程の展開事例研究Ⅰ 1単位

介護過程の展開事例研究Ⅱ 1単位

介護実習Ⅳ 4単位 他、多数の必修科目

受験資格を取得し、学内にて審査合格後、卒業時申請登録にて取得可能

ディプロマ・ポリシー

人間福祉学科が大切にしているのは、「利用者の方の心身の状況に応じた日常生活全般の支援、利用者の方個々のニーズに応じた支援ができる介護福祉士」を育てることです。卒業認定の方針として卒業時にどの程度の能力を有しているかを以下に示します。

高齢者・障がい者の方をいつも思いやり、受け止められる。

高齢者・障がい者の方の生活に関心を持ち、個々人の思いを大切にできる。

高齢者・障がい者の方の自立心と創造力を引き出すことができる。

高齢者・障がい者の方に対し常に尊敬の気持ちを持って行動することができる。